

ならわら

団体名

檜原ゆうあい会 (下関市)

代表者名	吉川 俊雄	団体の目的
構成員数	30人	・下関市豊田町檜原地区を中心に、自然や歴史等の地域資源を活かし、安全で心豊かな魅力ある地域づくりに取り組む ・交流人口を増やし、UJI ターンの促進を図る
設立	H19年4月	
問い合わせ先	☎083-766-1397 (柴田)	

事業名

協働による地域資源を活かした「学びの郷」活用事業

事業の目的

- ・「学びの郷づくり5ヶ年計画」に基づいて、里山、川、山城跡、街道、耕作放棄地等の資源を活用した研修、交流や、さつま芋・藍等の栽培・収穫・販売・活用により地域経営の自立をめざす

事業の内容

- ・地域イベントの開催～ 藍染め体験教室、観月会、郷土史講座等
- ・大学生の活動体験受け入れと交流
- ・里山整備と耕作放棄地の活用 (里芋やさつま芋の植え付けと収穫体験、藍の栽培)、防獣対策
- ・肥中街道の整備と山城史跡案内表示の設置

事業の成果

- ・里山整備や防獣対策により、地域資源の活用が可能となった
- ・「学びの郷づくり計画」が順調に進み、集落の交流人口が増え、地域に希望が感じられるようになってきた
- ・地域の活動に対して行政や団体等からの理解が得られ、協働が進んだ
- ・「地域は住民自らが創る」という理念が住民に浸透してきている

活動現場レポート！

郷土史講座 <H29.12.2/妙栄寺 (下関市豊田町檜原)>

この日は第11回目となる「郷土史講座」が開催され、地域住民等約50人が参加されました。

地域の貴重な資源を学べる機会ということで、講座を毎回楽しみにされている方も多くいらっしゃるそうです。

はじめに、会の代表で、妙栄寺の住職でもある吉川俊雄さんがあいさつ。続いて、下関市文化財保護課主任の中原周一さんによる「中世山城考～朝倉弘詮と諏訪勝山城」と題した講演が行われ、山城の構造や目的は何かといった基本的なことから、地域に残る山城(一ノ瀬城、竜山城、諏訪山城跡)について歴史や築城目的等を説明されました。参加されたみなさんは真剣に聴講されており、質問時には積極的に手があがっていました。

講演後は、おにぎりを食べながらの交流会で、それぞれの地域の様子など、有意義な情報交換・交流・活動の振り返りの場となっており、今後も「学びの郷づくり計画」に基づき、魅力的な地域づくりを一丸となって進めていくことを確認されていました。



興味深く地域の歴史を学ぶ参加者



